

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ **BLACK BORDERS**
- ☐ **IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- ☐ **FADED TEXT OR DRAWING**
- ☐ **BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- ☐ **SKewed/SLANTED IMAGES**
- ☐ **COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- ☐ **GRAY SCALE DOCUMENTS**
- ☐ **LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**
- ☐ **REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- ☐ **OTHER:** _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.

PAT-NO: JP362272746A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 62272746 A
TITLE: DOCUMENT EDITING DEVICE
PUBN-DATE: November 26, 1987

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

SENZAKI, KOICHI

MATSUOKA, SHIGERU

MATSUDA, EIJI

FUKUSHIMA, MASAHIITO

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

HITACHI LTD

COUNTRY

N/A

APPL-NO: JP61114625

APPL-DATE: May 21, 1986

INT-CL (IPC): H04N001/04, G06F015/20 , G06K009/20

ABSTRACT:

PURPOSE: To eliminate alignment operation and to improve the operability by setting the print start position variably and storing the print start position in the case of the designation of ≥2 print numbers and moving a carrier to the stored print start position at each print end.

CONSTITUTION: A print key is depressed to display a setting sheet number input message on a liquid crystal screen, an input is executed from a numeral key on a keyboard 1 to set the print number. Then a carriage is moved up to the lateral print start position by using left/right cursor key on the keyboard 1 to store a position moved from a sensor 23 thereby starting the

print of an
illustration reader. At the end of one print, the result updating
the print
number is ≥ 1 , the carriage is moved up to the stored print start
position to
start the print of the next original. Thus, the operation above is
repeated
until the number of sheets reaches 0, even if the original is changed
in the
unit of one original, the left print start position is aligned and
the
automatic print without being aware of the operator is attained.

COPYRIGHT: (C)1987,JPO&Japio

⑫ Int. Cl. ⁴	識別記号	庁内整理番号	⑬ 公開 昭和62年(1987)11月26日
H 04 N 1/04	1 0 5	8220-5C	
G 06 F 15/20	3 0 1	S-7218-5B	
G 06 K 9/20		6942-5B	審査請求 未請求 発明の数 1 (全4頁)

⑭ 発明の名称 文書編集装置

⑮ 特 願 昭61-114625

⑯ 出 願 昭61(1986)5月21日

⑰ 発 明 者	先 崎 幸 一	日立市東多賀町1丁目1番1号 株式会社日立製作所多賀工場内
⑱ 発 明 者	松 岡 繁	日立市東多賀町1丁目1番1号 株式会社日立製作所多賀工場内
⑲ 発 明 者	松 田 栄 司	日立市東多賀町1丁目1番1号 株式会社日立製作所多賀工場内
⑳ 発 明 者	福 島 雅 仁	日立市東多賀町1丁目1番1号 株式会社日立製作所多賀工場内
㉑ 出 願 人	株式会社日立製作所	東京都千代田区神田駿河台4丁目6番地
㉒ 代 理 人	弁理士 小川 勝男	外2名

明 細 書

1. 発明の名称

文書編集装置

2. 特許請求の範囲

1. プラチンと、該プラチンに対向し該プラチンに担持された印字紙に印字をおこなうための印字ヘッドを備えたキャリアと、該キャリアの位置情報を発生する発生手段を備えた文書編集装置において、印字の開始位置として固定設定される第1の開始位置と、前記キャリアを移動することにより一時的に可変設定される第2の開始位置とを設定する手段と、第2の開始位置を前記キャリアを移動し設定した場合、該印字枚数が2枚以上のときは、前記第2の開始位置を記憶し印字終了ごとに前記キャリアを前記第2の開始位置に移動させる手段を有することを特徴とする文書編集装置。

3. 発明の詳細な説明

【産業上の利用分野】

本発明は、例えば画像の読み取り機能を備えたパーソナルコンピュータや日本語ワードプロセッサ

のような文書編集装置に関する。

【従来の技術】

近年急速に普及している日本語ワードプロセッサにおいて画像読み取り機能を備えたものが出てきている。一般に画像読み取り機能を備えている熱転写プリンタを具備している日本語ワードプロセッサのようなシステムにおいて、画像を読み込むときにはプリンタのキャリアッジからインクリボンカセットを取り外し、インクリボンカセットと同型のイメージセンサ付きのリーダ部をプリンタのキャリアッジに取付け、画像原稿をプリンタにセットする。日本語ワードプロセッサのようなシステムはプリンタのプラチンを回転させて画像原稿を送ると共に、キャリアッジを駆動しイメージセンサ付きのリーダ部を画像原稿面に走行させ画像データを本体内部に記憶する。印字する時にはプリンタのキャリアッジからイメージセンサ付きのリーダ部を取外し、インクリボンカセットを取り付け、プリンタ用紙をプリンタにセットして印字を行っている。

尚、この種の装置としては特開昭59-141868号公報に記載されたものがある。

【発明が解決しようとする問題点】

従来画像原稿に書かれている画像を読み込む手順によると、該読み込んだ画像を新たに紙に印字する場合、印字ヘッドからなるキャリアを、所定の印字開始位置へ移動せしめることは、内容に規定される動作である。ここで、前記日本語ワードプロセッサのようなシステムで、前記画像を印字するような場合を考えるに、複数枚に渡って同一画像を印刷する用途が多い。これは、例えば集書への画像印刷のような用途である。

このような場合、印刷の度に前記キャリアを移動させ、位置合わせをする作業が発生するため好ましくない。

それは、印刷動作終了によって、前記キャリアは、ホームポジションと呼ぶ一定位置へ必ず戻るよう制御されているからである。

本発明の目的は、このような位置合わせ作業を省き操作性を向上することにある。

【問題を解決するための手段】

上記目的は、印字開始位置を可変設定され、かつ2枚以上の印刷枚数が指定された場合に、前記印字開始位置を記憶するようにし、印刷終了ごとに該記憶された印字開始位置へ、前記キャリアを移動ならしめるようにすることにより達成される。

【作用】

キャリアは、印刷終了ごとに前記記憶された印字開始位置に戻るため、印刷の度に前記キャリアを移動させる作業を省くことができ、操作性が向上する。

【実施例】

以下、本発明の一実施例を断面を用いて詳細に説明する。

第2図は本発明の一実施例である画像読み取り機能を備えた日本語ワードプロセッサのような文書編集装置の外観を示す。

文字や記号等を入力するキーボード1、キーボード1より入力された文字や記号及び作成編集し

- 3 -

た文書を表示する液晶表示ユニット2、文書のハードコピーをとるプリンタ3、および作成した文書の記憶の他、前記の各部を制御するコンピュータなどにより制御される制御回路4、さらに、各部を保持する箱体5に大別される。

ここで、画像読み取り部6はプリンタ3上のキャリアッジに装着可能に構成される。

以上の構成を第3図の制御ブロック図で説明する。全体を制御するCPU(中央処理装置)10、文字の字体が格納されているキャラクタジェネレータ11、文を作る上で単語等の辞書が格納されている辞書ROM12、文書編集装置としての機能を実行するためのプログラムであるプログラムROM13、文書や情報を格納するための随時、脱出しか、書き込み可能なメモリであるRAM14、キーボード1のキー入力を、CPU10に接続可能とするインターフェイス回路であるキーボード制御部15、プリンタ3の動作を指示するためのプリンタ制御部16、さらに、液晶表示ユニットでの各々の液晶単位ドットに対応するメモ

- 4 -

リであるビデオRAM18、該ビデオRAM18の内容に基ずき、液晶表示ユニット2の液晶単位ドットを駆動する液晶コントローラ17よりなる。

以上の構成により、電源投入後、CPU10とプログラムROMによって文書編集機能が実行され、キーボード4上のキー入力を信号として、キーボード制御部15を介し判別し、該信号に基ずく文字フォントをキャラクタジェネレータ11内より読み出し、ビデオRAM18内に格納する。

しかして、液晶コントローラ17により、液晶表示ユニット2へ表示される。該キー入力によっては、辞書ROM12内の辞書を照合し、該当する文字フォントをキャラクタジェネレータ11内より読み出し、ビデオRAM18内に格納する。

以上の処理を繰り返すことによって文書が作成される。該文書は、RAM14内に格納されていることは言うまでもない。さらに、該文書を印刷する場合は、プリンタ制御部16を介し、ドライブ信号をプリンタ3に与えることによって達成される。また、プリンタ3のキャリアッジ上にイラスト

- 5 -

-272-

- 6 -

トリーダヘッド部6をセットし、該キャリッジを動かしながら、イラストリーダヘッド部8からの画像読み取りデータを、イラストリーダ制御部19を介して、RAM14内に格納するよう構成される。

文書の印刷では、余白、書式等の情報も含め左右の印字書き出し位置はセンサ23から固定長(ホームポジション位置20)で印刷が開始される。

イラストの印刷では、印字の書きだし位置は、自由にキーボード1上のカーソルキーで設定でき可変に位置が設定できる。

次に本発明の印字シーケンスについて第1図および第4図を用い説明する。

印刷キーが押下されることにより、液晶画面に設定枚数入力メッセージを表示し、キーボード1上の数値キーより入力を行い、印刷枚数を設定する。次に、キーボード1上の左右のカーソルキーにより横方向の印字開始位置までキャリッジを移動させ(処理1-4、1-5)、キーボード1上の実行キー入力までウェイトし、実行キー入力をトリガとし

センサ23から処理1-4で移動した位置を記憶し(処理1-6)、イラストリーダの印刷を開始する。一枚のプリント終了時、処理1-3で設定した印刷枚数を更新(-1)その結果が"0"であればキャリッジをホームポジション位置まで移動し印刷を終了する。また更新した結果が"1"以上であれば処理1-6で記憶した印刷開始位置までキャリッジを移動させ次の原稿の印刷を開始する。

このように枚数が"0"になるまで繰り返すことにより原稿を1枚毎に変えても左方向の印字開始位置は、オペレータが意識せず自動的に印字を行うことが出来る。

【発明の効果】

本発明によれば印字開始位置を可変設定されかつ、2枚以上の印刷部数が指定された場合、前記印字開始位置を記憶し、各部数の印刷終了ごとに該記憶された印字開始位置へ、キャリッジを移動させ作業を除くことが出来、操作性の一段と向上した文書編集装置を提供できる効果がある。

4. 画面の簡単な説明

- 7 -

第1図は本発明の一実施例の制御フローチャート、第2図は本発明の一実施例の外観斜視図、第3図は本発明の一実施例の制御ブロック図、第4図は本発明の一実施例の印字部の説明をするための概念図である。

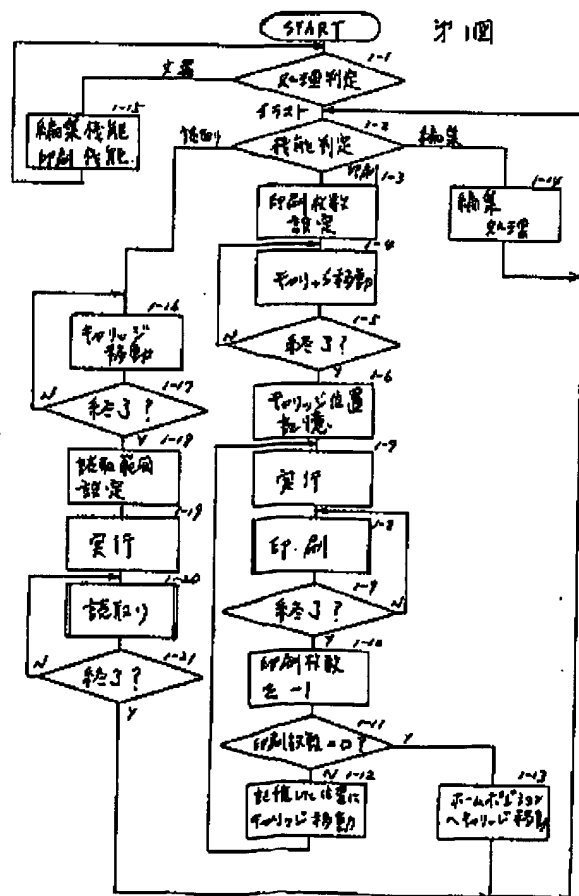
8・・・イラストレーダヘッド部、21・・・プラテン

22・・・原稿、23・・・センサ、24・・・キャリッジ

25・・・インクリボン、26・・・ホームポジション

代理人 弁理士 小川勝男

- 8 -



- 9 -

図2

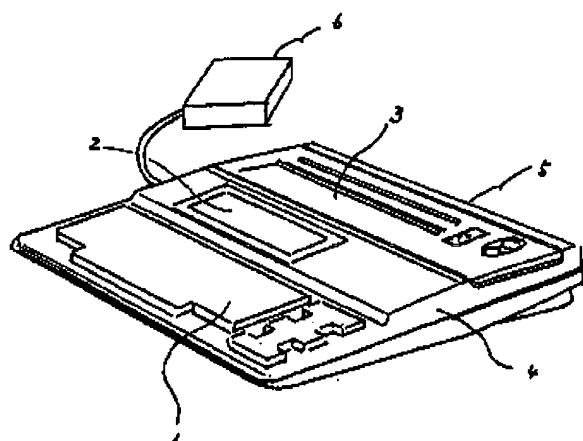


図3

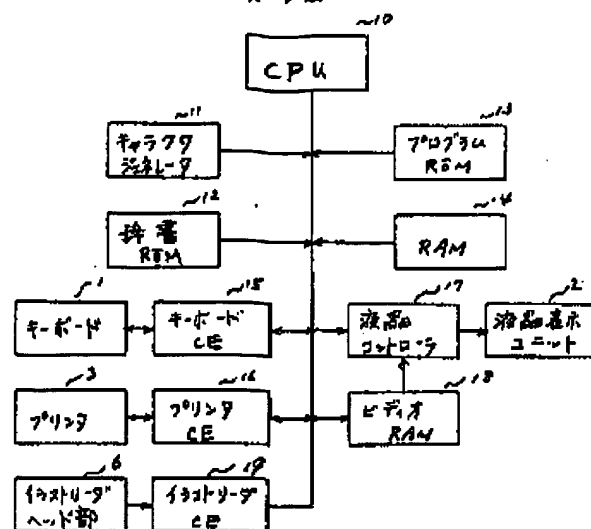


図4

